

教員名

栗原 正憲(代表)

企画名

淡路市仁井地区社会貢献活動・夏イベント(Nプロジェクト)

地域活性化型/イベント支援・運営型

企業/自治体・国
学校(教育機関)/住民組織



BBQおにぎり作り

BBQ

竹灯籠の準備

竹灯籠点燈

企画・活動概要

高齢化が進む淡路市仁井連合会とJPGA(日本グローバルアカデミー)留学生との交流を促進するため、本学学生たちが運営に参加して3団体共催で夏イベント「こないいとこ！仁井まつり」を開催する。

経緯・背景・目的

【経緯】淡路市仁井地区における社会貢献活動(Nプロジェクト)は、地元世話役の人形寺祥弘様(当時、公民館長)が人口減少と高齢化が進む地区の状況を憂慮し、知人であった中山一郎先生へ学生たちの力で地域活性化を後押ししてほしいと相談があったことから始まり、濱田恵一先生、栗原らが活動に賛同し本学でのNプロジェクト立ち上げとなった。淡路市仁井地区における社会貢献活動(Nプロジェクト)は、2017年度からスタートし今年度で3年目を経過した。継続した活動によって地元と本学学生たちとの厚い信頼関係が醸成され、学生たちの支援は地域活性化への大きな力となっている。

【目的】

- 1) 過疎地域の地方活性化へ学生たちの力を結集し社会貢献を果たす。
- 2) 活動を通して過疎化、高齢化の現実を体感し、学生たちの社会的課題認識を深める。
- 3) 学生たちが主体的に行動を起こし、社会人としての必要な実践的能力を養う。

取り組む課題

「第3回こないいとこ！仁井まつり」(納涼祭)を共催し、地域のみなさんとJPGA(日本グローバルアカデミー)留学生との交流促進と地域活性化を推進する。

本学(学生)の役割

- 1) 夏祭り総合司会
- 2) ミニ寺子屋教室の開催(講師:藤原喜美子先生)
- 3) BBQ大会(運営全般・会費徴収など)
- 4) 竹林伐採作業・竹灯籠の製作・点燈
- 5) イベント後の会場撤収作業と会場美化

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

【活動結果と成果】

2019年8月17日(土)16:00から「こないいとこ！仁井まつり」を開催。お祭りの来場者数は、BBQ会費(800円)の徴収や猛暑の影響があり144名であった。夏イベントには、本学学生46名+指導教員7名の53名が参加した。淡路市長や協賛企業の関係者にもお越し頂き、つながりの輪の力を感じる心温まるイベントとなった。

【学生の成長】

真夏の日中を避け、今年は夕方から開催の納涼祭としたが、学生たちが自由に企画した「ふれあい」を重点においたBBQ大会、竹灯籠を使った点燈など斬新な企画を実現させた。BBQ資材の準備や竹の伐採など地元の方々との協力を得るための調整には大変な苦労があった。学生たちは実現に向けてへこたれず粘り強く活動したことにより、かけがえのない達成感を味わった。また、企業への協賛要請活動を展開し成果を得たことは、社会人になっても大いに誇れる貴重な経験になった。

指導教員および関係者の紹介

◇指導教員

岩崎久志先生
中山一郎先生
高田 宏先生
辻本乃理子先生
藤原喜美子先生
濱田恵三先生

◇淡路市仁井連合会

新井英男様(仁井連合会副会長)

◇JPGA日本グローバルアカデミー

三谷展優様(JPGA代表)

◇自治体等関係者

門 康彦様(淡路市長)
原テツアキ様(兵庫県議員)

◇協賛企業

三井住友銀行 洲本支店様
伊丹産業 東浦支店様
(株)八嶋組仁井英長所様
淡路インターナショナルホテルサンブラザ様